

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2024年3月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 81



SPECIAL

顔の痛み、顔の歪みは早めに治療を



脳神経減圧術研究所

所長

近藤 明恵 医師

顔面に分布する三叉神経と顔面神経が、血管や腫瘍で圧迫されると鼻や口のまわりが激しく痛む「三叉神経痛」や、顔の片側が勝手に歪む「顔面けいれん」を起こします。

放置するとどんどんひどくなるため、早期診断と治療が必要です。根本的治療は脳神経減圧手術で、これまで2,000例以上執刀した近藤医師に話を聞きました。

三叉神経痛の症状

三叉神経は脳幹から出て大きく3本に分かれて額、頬、顎周囲の知覚を担う神経です。この神経が、主に加齢とともに曲がってきた血管や、時には腫瘍で圧迫されることで、頬や鼻、口の周辺にピリピリと電気が走ったような痛みを生じます。

この痛みは体の中で最も強い電撃痛で、洗顔や食事をするなどで誘発され、痛みが数秒から数分間続いた後、しばらく治まり、また痛みが出るというサイクルを繰り返します。

最初は虫歯と勘違いしやすいのですが、神経への圧迫は徐々に進むため話したり、冷たい風を受けただけでも激しく痛みます。診断はMRI検査で行います。

三叉神経痛の治療

(1) 薬物療法

テレグレートと言うてんかんにも使う薬が有効ですが、痛みが進むにつれて薬の量を増やさなければならず、薬疹や眠気、ふらふらするなどの副作用が出ることがあります。ひいては肝臓機能の低下や白血球減少をきたします。

(2) 脳神経減圧手術

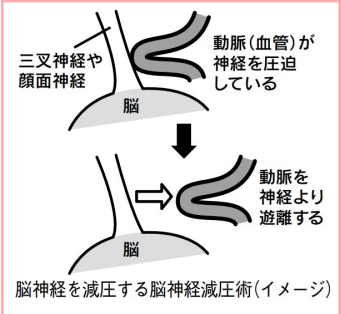
神経を圧迫する血管を神経から遊離させ、あるいは腫瘍を切除する手術です。この手術は全身麻酔のもと、耳の後方の頭蓋骨に10円硬貨大の穴を開け、手術用顕微鏡で観察しながら圧

迫している血管を神経から遊離し、再度圧迫しないように固定します。手術時間は全身麻酔を含めて約4～5時間で1週間程の入院が必要ですが、手術後すぐに痛みが取れ、治癒率は約98%、術後5～10年間の再発率は約3～5%です。

合併症としては約2%の確率で聴力の低下をきたす場合があります。この手術は非常に難しく、経験が必要な手術であります。

(3) ガンマナイフ治療

前述の脳神経減圧手術が行えない高齢者の方などに行います。放射線で三叉神経を照射し、痛みを緩和します。治癒率は約60%、再発率は約30%です。



脳神経を減圧する脳神経減圧術(イメージ)

顔面けいれんの症状

顔全体に広く分布し、顔の筋肉を動かす顔面神経が血管などで圧迫されることで、顔の片側が勝手にびくびくとけいれんします。特に人前で緊張するとけいれんが強くなります。

初期のけいれんは下まぶた周辺のことが多く、疲れ目と勘違いをされやすいですが、けいれんは次第に強まりながら顔の下方に広がり、ひどくなると顔が歪み、目が開けられなくなります。この疾患もMRI検査で診断します。

顔面けいれんの治療

三叉神経痛と同じく脳神経減圧手術が根本的治療になりますが、顔面の筋肉を一時的に麻痺させるボツリヌス菌を顔面に注射する治療法もあります。

効果は約3カ月のため、繰り返し治療しなければなりません。長期に渡り注射を繰り返すと、顔の筋肉が萎縮する危険性があります。

ロボット支援下人工関節:RAS(Robotic Assisted Surgery)の導入について

人工関節・膝関節機能再建センター 村上友彦センター長からお知らせです。

2019年にロボット支援下手術システムを使用した人工膝関節置換術が公的医療保険に適用されて以降、ロボットを導入する医療機関はますます増えております。

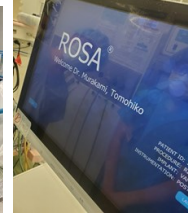
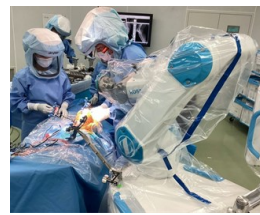
人工膝関節置換術は、変形性膝関節症により膝の軟骨や骨が摩耗し、変形した関節を金属や超高分子量ポリエチレンで作られた人工関節に置き換える手術です。人工膝関節置換術の**良好な結果**を得るには、**①正確な骨切り、②正確なインプラントの設置、③良好な軟部組織バランスの獲得**が必要です。

ロボット支援下手術システム:RASは、車のカーナビのように術者をロボットで支援する技術になります。術中に患者さんの膝を動かしながらセンサーで**各個人の膝関節内靭帯の緊張度を登録**することで、より正確に関節内の状況を把握して手術を行うことが出来るメリットもあります。

人工膝関節置換術を行う際に膝関節の軟骨や骨を削る必要があり、熟練医師でもその誤差範囲の厚さは3mm、角度は3°以内といわれています。しかし**RAS**を用いることで、**誤差範囲は厚さ0.1mm、角度は0.1°以内に抑える**ことが可能となります。**RAS**を用いて安定的に高い精度での手術を行うことで、人工関節の摩耗や緩みなどが生じにくくなり、**人工関節の寿命の長期化**をはかることができるため将来の再手術リスクを低減し、患者さんの**術後満足度の向上**が期待できます。

またRASでは不要な切開や剥離をしないため、**身体への負担は少なく**、感染を低下させ、**術後回復が早くなり入院期間の短縮**も見込めます。

当センターでは**RASを2024年から導入**しました。これまで以上に地域の皆様への貢献につながると確信しておりますので、**ご興味ある方は是非当センターを受診**下さいませようよろしくお願い申し上げます。



がんサロン「白鳥の会」を開催しました

1月23日に、「がんと心のケア」というテーマで、がんサロンを開催しました。がんと診断されると、「がんは治るのだろうか」「家族に病気のことをどう話せばいいのか」など、様々な場面でストレスを感じ、不安になったり、落ち込んだりすることがあります。

がんと言われた患者さんが不安で落ち込むことは、当たり前の反応です。それがあからといって、すぐに治療をしないとイケないわけではありません。通常2週間程度で、落ち込みや不安は軽減されていきます。

今回は、ストレスを軽減させる呼吸法なども、参加者の方と一緒に実践しました。心のつらさを軽減させることは、がん治療と同じくらい大切なことです。一人で抱え込まず、がん相談支援センターにご相談ください。



城山病院 がんサロン「白鳥の会」

患者様向け

日程:2024年3月26日(火) 15時~16時

場所:2階透析ラウンジ

講師:理学療法士 松田 和也

がんやがんの治療による体への影響に対する回復力を高め、残っている体の能力を維持・向上させるためにリハビリは必要です。自宅でする簡単な運動をご紹介します!!一緒にやってみましょう。

しろやま病院ハイブリット研修会

医療従事者向け

尿道留置カテーテルの管理 ~尿路感染を防止するには~

医療感染の中でも最も多いとされている、尿路感染症について、一緒に考えましょう!

日程:2024年3月13日(水) 17:30~18:15

ミーティングID:829 5650 5443

パスコード:064904

参加QRコード



2023年度 城山病院 第3回病院見学会 開催のお知らせ

日時:2024年 3月27日(水)
13:30~16:30 (受付 13:00~)

会場:城山病院 3Fカンファレンスホール

参加費:無料

対象:各養成校の学生

最終学年以外の見学も可能です
(見学目的の参加も大歓迎です!)



申し込みQRコード
(締切3月17日)



【2025年4月採用の求人職種】

臨床工学技士・臨床検査技師・診療放射線技師・薬剤師
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護福祉士
看護助手(無資格者も可)・社会福祉士・診療情報管理士
医療事務・医師事務作業補助者

城山病院からのお知らせ

ATM入替に伴う休止期間のお知らせ

ATM 2024年3月18日(月)~3月21日(木)
休止期間 23時終日

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

城山病院 献血バスのお知らせ

日時:2024年3月21日(木)
時間:10:00~11:30/12:30~16:00

場所:1F正面エントランスホール前

血液は人工的につくることも、長期間保存することもできません。輸血を必要とする患者さんに血液をお届けできるよう皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

